

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

回答数: 12名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7 58.4%	4 33.3%	1 8.3%	遊ぶ場所、学習の場、静養室、医療ケアの場所を適切に配置できている。 全体的にやや狭さを感じるところがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	5 41.7%	7 58.3%	0 0%	行動に障害の特性の児童が多いため配置は手厚く行われている。 子どもの特性により足りないと感じる時もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10 83.4%	1 8.3%	1 8.3%	入口のスロープや多目的トイレと配慮されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5 41.7%	7 58.3%	0 0%	職員間の話し合いの場が持たれている。 常勤・非常勤を問わず多くの意見を取り入れるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7 58.3%	5 41.7%	0 0%	アンケートで得た意見を基に業務改善につなげている。 アンケート結果は会議で報告している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8 66.7%	4 33.3%	0 0.0%	ホームページ内で公表している。 ホームページ内で公開していることを知らない保護者もいるため、そのことを保護者に周知していかなければならない。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0 0%	5 41.7%	7 58.3%	現時点では行われていない。 今後の課題の一つである。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8 66.7%	4 33.3%	0 0.0%	必要な研修会への参加の機会は設けている。 毎年開催される研修会及び講習会は全職員が受講できるように順番にしている。
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4 33.3%	7 48.4%	1 8.3%	アセスメントは適切に行われているが、計画を立てる際に、管理者・児童発達支援管理責任者が主に作成するため、今後は全職員の情報や知識を取り入れて作成していきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6 50.0%	6 50.0%	0 0%	専用ソフトを導入し、きちんと管理している。入力した内容をプリントアウトし各個人毎にファイルして全職員が閲覧できるようにしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4 33.3%	6 50.0%	2 16.7%	常勤スタッフで児童毎に話し合いを行い、そこで出された課題をもとに活動プログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5 41.7%	7 58.3%	0 0%	利用児及び家族の意向を考慮しながら、その都度プログラムの変更を行い、固定化しないように配慮している。 マンネリ感がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2 16.7%	6 50.0%	4 33.3%	平日は時間が短いため課題を決め行いやすいが、休日及び長期休暇は利用時間も長いため、利用児が飽きたり、体調や気分の変化があるため、その点を考慮した課題を考えていく必要がある。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	4 33.3%	6 50.0%	2 16.7%	利用児の特性に応じた計画は作成している。中々集団活動に参加できない利用児もいるため、そのような利用児が参加できる計画を今後は立てていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7 58.3%	3 25.0%	2 16.7%	シフト制を取っているため、職員が全員が揃わないため職員のみで行っている。今後は決まった時間に申し送りをして周知徹底を行いたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6 50.0%	4 33.3%	2 16.7%	シフト制を取っているため、職員が全員が揃わないため職員のみで行っている。今後は決まった時間に申し送りをして周知徹底を行いたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6 50.0%	5 41.7%	1 8.3%	記録は専用ソフトで行っているが、操作が出来ない職員もいるため、職員全員が操作し記録を閲覧できるようにしたい。日々の記録を連絡ノートに記入し全職員が確認できるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8 66.7%	4 33.3%	0 0%	定期的にモニタリングは管理者・児発管を中心に定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	0 0%	8 66.7%	4 33.3%	ガイドラインに沿った運営・支援を行っているが、ガイドラインの詳細を把握していない職員が多いため、まずガイドラインを全職員に理解してもらうことから始めたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7 58.3%	5 41.7%	0 0%	サービス担当者会議には、管理者及び精通した職員の最低2名が参画できるようにしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7 58.3%	5 41.7%	0 0%	学校との情報共有・連絡調整は適切に行っている。特に予定や下校時間等については学校側から紙媒体で情報を頂いている。アセスメントやモニタリングの際は、学校の先生の意見を聞き、その内容も取り入れている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5 41.7%	4 33.3%	3 25.0%	利用開始前には、かかりつけ医に赴き情報を頂くようにしている。看護師に常時スマホを所持させて緊急時に連絡は取れる体制にしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1 8.3%	6 50.0%	5 41.7%	利用開始が就学後の児童が大半のため、保育園や幼稚園等と関わる機会が少ない。日中一時で利用する就学前の児童に関しては保育所・幼稚園等に赴き、情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2 16.7%	10 83.4%	0 0%	卒業生が就労移行等に行った場合は、就労先に情報提供を行っている。その後も問い合わせがあった場合は速やかに提供できる体制にしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5 41.7%	4 33.3%	3 25.0%	現在アドバイザー派遣等を検討している。専門機関への視察研修等も積極的に行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0 0%	5 41.7%	7 58.3%	児童クラブや児童館のイベントや行事に見学に行く等は行っているが、交流したり一緒に活動するまでは至っていないため、今後は連携を深めていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3 25.0%	5 41.7%	4 33.3%	法人内で併設する相談支援事業所の相談員が参加しており、その相談員より協議会での情報を頂いている。子ども支援部会には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9 75.0%	3 25.0%	0 0%	定期的なモニタリングにて情報共有を行っている。朝の送迎時には自宅での様子、帰りの送迎時にはデイでの様子を必ず伝えるようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	0 0%	6 50.0%	6 50.0%	希望する保護者には医療機関の専門性のある場所の紹介を行っている。現時点でペアレントトレーニングを学んでいる職員がいないため、それに基づいた支援が出来ていない。今後は職員に研修等で学ぶ機会を作り、保護者の支援に役立てたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6 50.0%	6 50.0%	0 0%	利用開始前や変更等があった場合には都度説明をするようにしている。しかし全職員が運営規定や利用者負担等を理解していないため全職員が説明できるようにしていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5 41.7%	7 58.3%	0 0%	保護者が悩み等を話しやすい環境を整えていると思う。各児童に精通した職員が保護者と話をしている機会を作っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0 0%	4 33.3%	8 66.7%	PTAが主催する研修会や行事には積極的に参加するようにしている。当法人での保護者会等は開催することが出来ていないため今後は行いたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11 91.7%	1 8.3%	0 0%	苦情等があれば管理者はじめ全職員と情報を共有して早急に対応するようにしている。基本的に苦情に関しては、直接お伺いして対応するように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9 75.0%	3 25.0%	0 0%	毎月一回リフライ通信を発行し配布している。行事案内やお知らせはその都度プリントにて発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	12 100%	0 0%	0 0%	個人情報については漏洩のないように全職員に周知徹底している。全職員に入社時に個人情報保護の誓約書を書いてもらうようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8 66.7%	4 33.3%	0 0%	障がいの状況に応じて、分かりやすい言葉や話し方をするように常に心掛けている。保護者への文書等もなるべく専門用語は使用せずに分かりやすい文面で出すように心掛けている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0 0%	4 33.3%	8 66.7%	現在は全く行っていない。まず、こちらから地域のイベントや集会に参加することから始めたいと思う。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3 25.0%	5 41.7%	4 33.3%	災害マニュアル、防災避難訓練マニュアル、利用児の異変時対応マニュアルを策定して対応できるようにしている。職員に周知しているが、保護者には問い合わせが無い以外は知る機会がないと思う。今後は、保護者にも周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2 16.7%	5 41.7%	5 41.7%	訓練という形では、事業所横の駐車場まで一斉非難する練習は行っている。緊急避難場所を取り決め全職員と今後場所・ルート確認を行うようにしたい。備蓄は水と災害用バッグは用意している。おやつを常に多めに準備して、災害時にはそれを備蓄の一部に充てようと考えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10 83.4%	2 16.7%	0 0%	虐待防止の研修会・勉強会を事業所内にて定期的に開催している。今後は虐待防止の外部研修に積極的に参加していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0 0%	7 58.3%	5 41.7%	原則的に身体拘束は行わない。行動に著しい障害がある児童についても基本的に身体拘束することは考えていない。但し自傷行為や他害行為がある子どもには保護者同意のもと作成の必要はある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11 91.7%	0 0%	1 8.3%	利用開始時に食品アレルギーチェックリストの記入して頂くようにしている。必要な場合は検査結果や診断書を提出してもらっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3 25.0%	4 33.3%	5 41.7%	小さい事でもヒヤリハット報告書を作成して職員会議や申し送り時に周知している。